

情報公開文書

研究の名称	富山大学附属病院・HIV/AIDS患者の日和見感染症を含む感染症調査研究
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・氏名)	富山大学学術研究部医学系 感染症学講座 山本善裕
研究の概要	<p>【研究対象者】</p> <p>この研究は、2010年1月1日～2026年3月31日までに富山大学附属病院に入院もしくは通院された、HIV/AIDS患者様の診療情報（カルテ情報）を対象にします。同期間に日和見感染症を含む感染症（細菌、ウイルス、真菌など）を発症した患者様の診療情報（カルテ情報）を調査し、より適切な診療体制の構築に活かしていくための研究になります。</p> <p>使用する診療情報は、年齢、全身の状態、性別、血液検査結果、微生物検査結果、使用した抗菌薬・抗真菌薬・抗ウイルス薬などです。</p> <p>【研究の目的・意義】</p> <p>抗レトロウイルス療法（ART）が一般化し、HIV感染症の予後改善が図られてきています。厚生労働省エイズ発生動向によるとHIV/AIDS感染症の3割が日和見合併症を発症しての発見で、ひとたびAIDSを発症した場合の死亡率は約10%であり、いかにHIV感染症を早期に発見するかが予後を規定する重要な因子となっています。また、日和見合併症治療開始後どのタイミングでARTを開始するかについては、免疫再構築症候群との兼ね合いで、疾患ごとに慎重に判断する必要がありますが、日和見感染症を発症した場合はARTを早期に開始する流れとなっており、我が国における動向を把握するための研究が進められています。このような状況のもと、当院でも日和見合併症の動向について継続した調査が必要であると考えられます。</p> <p>この研究を通し、HIV/AIDS患者の日和見感染症を含む感染症（細菌、ウイルス、真菌など）合併の実態を把握し、その発症予知や早期診断に向けた方法の確立と適切な治療法を研究します。遺伝子検査を含む新規及び既存検査法の検証を行うとともに、現行治療における問題点を抽出し、早期診断法や安全かつ有効な治療法の開発につなげます。</p> <p>【研究期間】</p> <p>実施許可日 ～ 2027年3月31日</p> <p>【研究結果の公表の方法】</p> <p>研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際は、患者様を特定できる情報は削除して発表されます。</p> <p>【利益相反状況】</p> <p>石川県より委託されたエイズ拠点病院機能強化事業の費用を研究費に利用する。本研究に関係する企業は存在しないため、本研究において申告すべき利益相反はない。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法	<p>【研究の方法】</p> <p>富山大学附属病院に受診したHIV/AIDS患者で、日和見感染症を含む新規感</p>

<p>(他機関への提供の有無)</p>	<p>染症を発症した方を対象にカルテ情報を解析します。</p> <p>※カルテ情報については以下を参照します：年齢、性別、基礎疾患、療養場所（居宅、高齢者施設）、周囲の感染流行状況、感染症の臨床診断（肺炎、尿路感染など）、治療内容（抗菌薬・抗真菌薬・抗ウイルス薬の種類、投与期間）、予後など</p> <p>※他院、他機関への情報・資料提供は行いません。</p> <p>この研究に利用する患者様の情報に関しては、お名前、住所など、患者様個人を特定できる情報は削除し、個人とは無関係な研究用識別番号を付すことで他の情報と照合しなければ個人を識別できないように加工します。</p> <p>パソコン上のデータ保管は電子カルテに準じた保管を行い、紙媒体の情報等は、医局内の特定のキャビネットに施錠した状態で保管します。</p> <p>研究で使用するデータ・情報は可能な限り長期間保管し、少なくとも、研究結果の最終公表後から10年間、適切に保管します。</p> <p>廃棄する際は、パソコン上のデータは消去、紙媒体の情報等はシュレッダーを用いて、再現不能な形式にして廃棄します。</p>
<p>研究に用いる試料・情報を利用する機関及び機関の長の職名・氏名</p>	<p>富山大学附属病院長 山本善裕</p>
<p>研究資料の開示</p>	<p>研究対象者等（研究対象者および親族等関係者）のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。</p>
<p>試料・情報の管理責任者（研究代表機関における研究責任者の所属・氏名）</p>	<p>富山大学附属病院 感染症学講座 山本善裕</p>
<p>研究対象者等（研究対象者および親族等関係者）からの相談等への対応窓口</p>	<p>研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>電話 076-434-7245 FAX 076-434-5018 E-mail yumurau@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 富山大学附属病院感染症科・村井佑至</p>